

特集

## 移住先で見つけた理想のわが家



募集から就農・定着までステージに応じてサポート  
日本各地で成果を上げるJAの新規就農支援

ここから始まるI・J・Uターン

# 経営者としてののほんの第一歩は ソリマチの農業簿記

独立や新規就農、はじめての経営「ドキドキ、ワクワク」  
夢にあふれた担い手のみなさんを、ソリマチは応援しています



経営の要は帳簿を正しく付けることから。

ソリマチの農業簿記なら、はじめての方でも  
らくらく記帳、かんたん決算。

法令改正時にも迅速対応！**収入保険制度\***や**消費税改正**も  
ソリマチと一緒にらずっとあんしんです。

## 農業簿記10

※「収入保険制度」とは、政府が平成30年秋からの加入申請受付を目指している新しい保険制度です。  
自然災害や価格低下による収益減少を広い品目で補てんされるのが特徴です。

### プラスアルファの農業経営へ 6次産業化の強い味方！

経営に必要なのは帳簿付けではありません。

営農日誌、販売管理、従業員の給与計算など幅広く業務をサポート。



**無料体験版** **まずはお試ください！** ソリマチHPよりダウンロードいただけます！

■CD-ROMでのご提供は下記までお問合せください

88 ソリマチ株式会社 [www.sorimachi.co.jp](http://www.sorimachi.co.jp) TEL:03-5475-5301 FAX:03-5475-5353

■東京本社 〒141-0022 東京都品川区東五反田3-18-6ソリマチ第8ビル 営業時間 9:00~17:30(土日祝日・および弊社指定日を除く)  
□新潟本社 □札幌ソリマチ □盛岡ソリマチ □さいたまソリマチ □名古屋ソリマチ □大阪ソリマチ □広島ソリマチ □熊本ソリマチ

- 02 募集から就農・定着までステージに応じてサポート  
日本各地で成果を上げるJAの新規就農支援 全国農業協同組合中央会

04 特集 移住先で見つけた理想のわが家

- 06 農業 豊後大野市で見つけた理想の環境 農業を軸にスローライフ確立を目指す  
大分県豊後大野市 橋本 信宏さん みゆきさん
- 08 林業 林業を生業とし理想的な田舎暮らしを実現  
愛知県豊田市 山本 圭吾さん 表紙
- 10 漁業 シェアハウス生活で牡蠣養殖に挑戦! 将来の独立を目指し奮闘する日々  
宮城県石巻市 大野 立貴さん

- 12 コラム 農園歳時記 第29回 心と体 中村 顕治
- 13 コラム 農業経営を志す人へ ~農業経営の発展過程と経営管理を考える~  
ステップ2 個人経営(経営と家計の分離の展開) 栃木県農業会議 嘱託職員 高田 武
- 17 I・J・Uターンの農林漁業就業相談窓口

広告

- ソリマチ株式会社
- 14 日本農業技術検定のご案内
- 15 岩手県一関市/長野県飯田市
- 16 一般社団法人 徳島県農業会議/公益社団法人 新潟県農林公社  
公益社団法人 大分県農業農村振興公社  
株式会社 日本政策金融公庫

iju info (イジュウ インフォ)

●配布場所

都道府県農業会議、青年農業者等育成センター、林業労働力確保支援センター、漁業就業者確保育成センター、ハローワーク、ジョブカフェ、農林漁業関係学校、図書館、東京都内の駅の一部など全国4,000カ所

IJU

検索

雑誌オンライン

検索

# 耕そう、大地と地域の未来。JAグループ 募集から就農・定着までステージに応じてサポート 日本各地で成果を上げる JAの新規就農支援



JAは農家のみならず  
を総合的にサポート  
しています！

JAグループが進める「みんなのよい食プロジェクト」キャラクターの笑味ちゃん。  
©みんなのよい食プロジェクト

JA...「農業協同組合」の英語表記「Japan  
Agricultural Cooperatives」の頭文字を組み合わ  
せたニックネーム。

## JAの総合力を活かした新規就農支援

地域の農家が協力し合い、農産物の販売や資材の共同購入など幅広い活動に取り  
組む JA（農協）が、各地で新規就農者の育成に力を入れている。

実家が農家ではない場合、「農業を始めたい」と思っても、何が必要で、どのよ  
うな手順を踏めばいいのかわからないという人も多いはず。

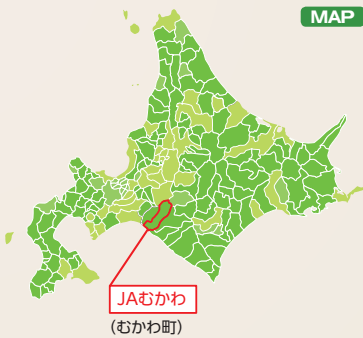
JAの就農支援なら、農地や資材はもちろん、生産から販売まで技術・経営の両  
面にわたった相談・サポートが手厚く、注目度が高まっている。とはいえ、すぐに  
一人前になれるほど、農業は甘くないことも事実だ。就農への熱い思いに応えてく  
れるJAの取り組みと、努力を重ねて独立就農した先輩たちの声を聴いた。



## 北海道 JAむかわ

春レタス・トマトの施設栽培による通年型農業が確立されている  
むかわ町では、地元農業者が組織する受入協議会と、町・JA等の  
関係機関が構成する地域担い手育成センターが連携して新規就農支  
援に取り組む。就農希望者は短期農業体験を経て町へ移住し、最長  
2年の長期農業体験（研修手当：月158,000円）へと進む。その後、  
さらにセンターが運営する鶴川研修農場で実践研修（研修助成金：  
月100,000円）を受ける。研修中から地域担い手育成センターが  
実施する農業講習会に参加して高い栽培技術を学べ、交流会を通し  
て地域との繋がりもできる。修了後は就農時に300万円の補助金

が受けられる町の単独事業があるほか、  
農業者から選ばれた“就農協力員”が  
農地や住まい探しをサポートしてくれ  
るなど、万全だ。



MAP

JAむかわ  
(むかわ町)



↑100坪のハウスが11棟  
並ぶ鶴川研修農場。トマト、  
春レタスをはじめニラ、ホ  
ウレンソウの栽培が学べる。



### 鶴川農業協同組合（営農部）

北海道勇払郡むかわ町文京2丁目2-1  
☎0145-42-2842  
<http://www.ja-mukawa.or.jp/index.html>

研修生への  
インタビュー

## 研修を修了し地域で独立就農

小笠原弘義さん 54歳  
■農地 1.55ha  
(ビニールハウス100坪×12棟)  
■作物 トマト



↑左から小笠原さん、JAむかわ営農部の藤田さん、むかわ町役場の宮村さん。

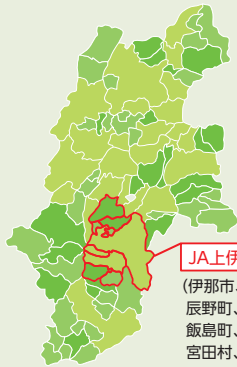
平成20年に神奈川県からむかわ町へ、研修一  
期生として移住した小笠原さん。きっかけは「新  
・農業人フェア」へ参加したこと。  
「もともと、北海道は好きでしたが、農業をやるう  
えで、北海道産」というブランドは魅力でした。  
その中でもむかわ町を選んだのは、積雪が少なく  
年間を通して農業ができることや、「新・農業人フェア」  
で農業者とJA、行政が一体となって就農支  
援に取り組む姿が見えたことが決め手でした」。

独立就農して7年が経過し、現在でも基礎研修  
の経験が生きている。

「研修受入農家でトマト栽培をメインに7か月研修  
し、その後、関係機関等の指導の下、鶴川研修農場  
で1年間の研修を受けました。鶴川研修農場ではハ  
ウスでトマト7棟、ニラ1棟での研修を行うととも  
に、農業資材の費用や売り上げ手数料などが実践的  
に学べて、独立就農の具体的なイメージを持つことが  
できました。この経験が今でも生かされています」。

独立就農1年目でトマトとレタスで年間売上  
1200万円を達成し、その後の経営は軌道に乗っ  
ていった。

「サポート体制には、JAの営農相談課もいるので、  
資金調達や農地確保などもスムーズにでき、1年  
目は作物の管理に専念することができたため、売  
上にも結果が出たと思います。現在も安心して農  
業に専念できています。むかわ町は、就農希望者  
のやる気に応じてくれる環境が整っています」。



MAP

**JA上伊那**  
 (伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、宮田村、中川村)



↑上伊那では昼夜の寒暖差が大きい内陸性気候を活かし、リンゴ・梨をはじめ糖度の高い果物が作られている。

JA上伊那の独自の新規就農者支援「農業インターン制度」は、20年以上の歴史を持つ。就農希望者はJAの臨時職員（月給130,000円）として採用され、安定した雇用環境のもと、先進農家で最長3年間の研修を受ける。JA上伊那では、アスパラガス、白ネギ、ブロッコリー等の野菜やリンゴをはじめとした果樹栽培等の希望者を受け入れており、これまで83人が就農を果たした。研修先農家やJA営農指導員のもと、高水準の栽培技術に加えて簿記講座等、経営についても学ぶことができる。研修を受けつつ農地を探して収入を得ることも可能で、早期に独立を実現し、活躍している先輩移住者も多い。JA上伊那管外からの移住者には、就農後に月2万円の住居手当が最大2年間支給されるなど、手厚い支援も用意されている。



**上伊那農業協同組合**

長野県伊那市狐島 4291  
 ☎0265-72-8833  
<http://www.ja-kamiina.iijan.or.jp/>

研修生へのインタビュー

愛知県出身の秋丸さんが宮田村に移住したのは、平成26年のこと。もともと登山が趣味で、長野県にはよく足を運んでいたという。「妻の実家がリンゴ農園を営んでいるので、その手伝いにも来るようになり、いつしか、アルプスを望むこの場所でもリンゴを育てたいと思うようになりました」。

愛知での会社勤めのかたわら、情報収集し、週末には村に通ってリンゴ農家を手伝ううち、行政からJA上伊那のインターン制度を紹介される。「JAの臨時職員として2年間、村の農家で研修を受けて栽培について学びました。職員として農業祭やワイン祭りといった地域の行事を手伝ううち、多くの農業者や役場の方と知り合えました」。

地域で信頼を得たことに加え、先輩農家の力添えもあり、研修2年目には空き農地1haを村から借りることができた。

「離農する農家から圃場を任せられることもあり、就農2年目の今は1.5haに拡大しましたが、『ふじ』をはじめ10品種を栽培しています。古い木もありますので、実際に収穫できるのは80a程度。食べていくには厳しいですが、改植を進め

**研修を修了し地域で独立就農**

秋丸洋輝さん 38歳  
 農地 1.5ha  
 作物 リンゴ



↑左から秋丸さん、JA上伊那営農部の岡野さん。

「将来は妻と2人で農園を営みたいです」。

就農以来、「忙しくて山にも登れません」とこぼす一方、その笑顔には、太陽の下で働く充実感がにじむ。

「頼りになる先輩農家や電話一本で駆けつけてくれるJA営農指導員など、支えてくれる人たちの存在が大きいです。農業をやる上でもっとも大切なのは、人との関わりです」。



JAグループ 新規就農支援 **検索**

**あなたの近くで  
 さっと見つかる！  
 各JAの新規就農支援**

JAグループのホームページからは、全国地図や都道府県名より、各地のJAおよび新規就農支援情報が検索できる。コンテンツは農産物の販売ランキングや研修の種類、募集情報、就農支援について等、役立つ情報が掲載されている。気になる地域の情報を集めて、就農への第一歩を踏み出そう。

<http://agri.ja-group.jp/support/start>



# 移住先で見つけた理想のわが家



都市部から地方への移住は、豊かな自然環境や美しい風景への期待も大きいですが、農林漁業への就業を目指すなら、農地や漁場へのアクセス、資材置き場の確保など、外せない条件も多いはず。移住した先輩たちに「理想のわが家」のを見つけ方を聞いた。



## 移住の有力な選択肢「空き家バンク制度」

「平成 25 年住宅・土地統計調査」（総務省統計局）によると、日本の総住宅数は 6,063 万戸。そのうち空き家は 820 万戸あり、これは 1993 年からの 20 年間で約 1.8 倍に増加したことになる。

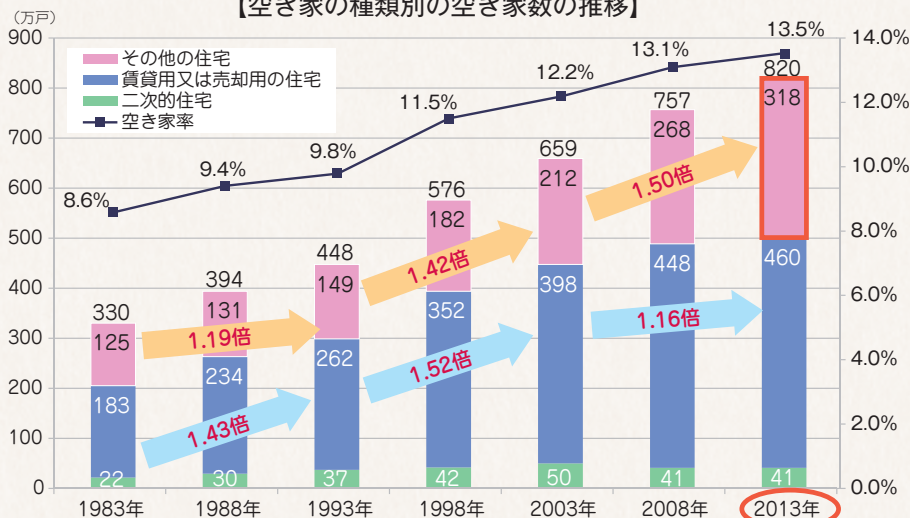
空き家率も過去最高の約 13.5% となったうえ、今後は人口減少や団塊世代からの相続放棄により、さらなる深刻化が懸念されている。

この空き家問題の解決策として、主に地方自治体が行き組むのが「空き家バンク制度」。

空き家物件の賃貸・売買情報をホームページなどで紹介し、持ち主と利用希望者をマッチングさせるシステムだ。基本的に格安物件が多く、自治体職員や相談員など、移住に関する不安も相談できるうえ、自治体によっては移住の支援制度と併せて利用できるとあって、移住者の有力な選択肢となっている。

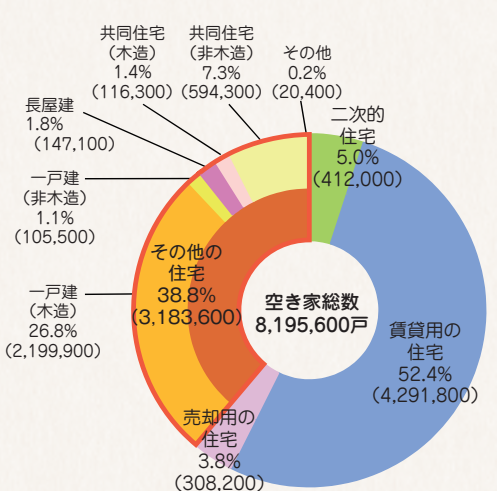


【空き家の種類別の空き家数の推移】



【出典】：住宅・土地統計調査（総務省）

【空き家の種類別内訳】



【出典】：平成25年住宅・土地統計調査（総務省）

### 【空き家の種類】

**二次的住宅**：別荘及びその他（たまに寝泊まりする人がいる住宅）。

**賃貸用又は売却用の住宅**：新築・中古を問わず、賃貸又は売却のために空き家になっている住宅。

**その他の住宅**：上記の他に人が住んでいない住宅で、例えば、転勤・入院などのため居住世帯が長期にわたって不在の住宅や建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅など。

※いわゆる「空き家」には、賃貸の空き物件（円グラフの青色）や、売れ残り物件（円グラフの紫色）、別荘など（円グラフの緑色）のほか、長期にわたって誰も住んでいない「その他」の住宅（円グラフの赤い扇形内）があります。

## 「空き家バンク制度」契約までの流れ

各自治体の「空き家バンク」ホームページで情報収集。  
 サイト登録により、希望物件情報が送られてくる自治体もあり。

気になる物件が見つかったらメール、電話にて問い合わせ、内見の日時を調整しよう。

現地にて担当者との顔合わせ。契約内容を確認し、実際に物件を見学。

契約する場合は、改めて大家さんと打合せを行う。契約を再度確認し、引っ越し日程などを決定する。

契約成立

## 空き家バンク制度にプラス！自治体による支援制度例

### 東京都奥多摩町

東京都西部の奥多摩町では、35歳以下の単身世帯、45歳以下の夫婦、50歳以下で子ども（中学生以下）がいる世帯を対象に「若者用空き家バンク」を実施。通常の空き家バンクよりリーズナブルでお得な物件や、利便性の高い物件等を紹介している。

奥多摩町地域整備課管理係  
 ☎ 0428-83-2367

↓「若者用空き家バンク」に登録されている物件の一例。



### 埼玉県東秩父村

“和紙の里”としても知られる同村では、「空き家リフォーム工事助成金」（工事経費の2分の1、または30万円を限度）を交付。さらに、空き家バンク制度を利用して移住し、子育てを行う場合は、一律20万円を支給する「子育て助成金」を用意している。

東秩父村総務課  
 ☎ 0943-82-1254

↓4DKの一軒家は、子育てにも十分な広さ。2台の駐車スペースが付いて、価格は450万円。



### 大分県豊後高田市

“昭和レトロの町”として人気の同市では近年、移住者を中心に人口社会増を達成。「空き家リフォーム事業補助金」では、リフォーム費用の1/2（上限40万円）の補助金に加え、仏壇の撤去に上限5万円を交付する。その他、135項目の補助メニューを揃える。

豊後高田市地域活力創造課定住促進係  
 ☎ 0978-22-3100

↓山間部にある白野地区の空き家。木造2階建て、約200㎡の一軒家で、賃貸料は月50,000円。



### 福岡県うきは市

うきは市外からの移住希望者向けに、築100年超の古民家を改修した移住体験施設「うきは百年邸」を整備。豊かな自然を満喫しつつ、地域住民と交流を深めて充実の“うきはライフ”を送ろう。家賃は月5万円で、入居期間は1か月から最長1年まで。

うきは市うきはブランド推進課  
 地域振興係  
 ☎ 0943-76-9059

↓風格ある木造平屋建ての「うきは百年邸」。間取りは、12畳のDKをはじめ、4DKと広々。

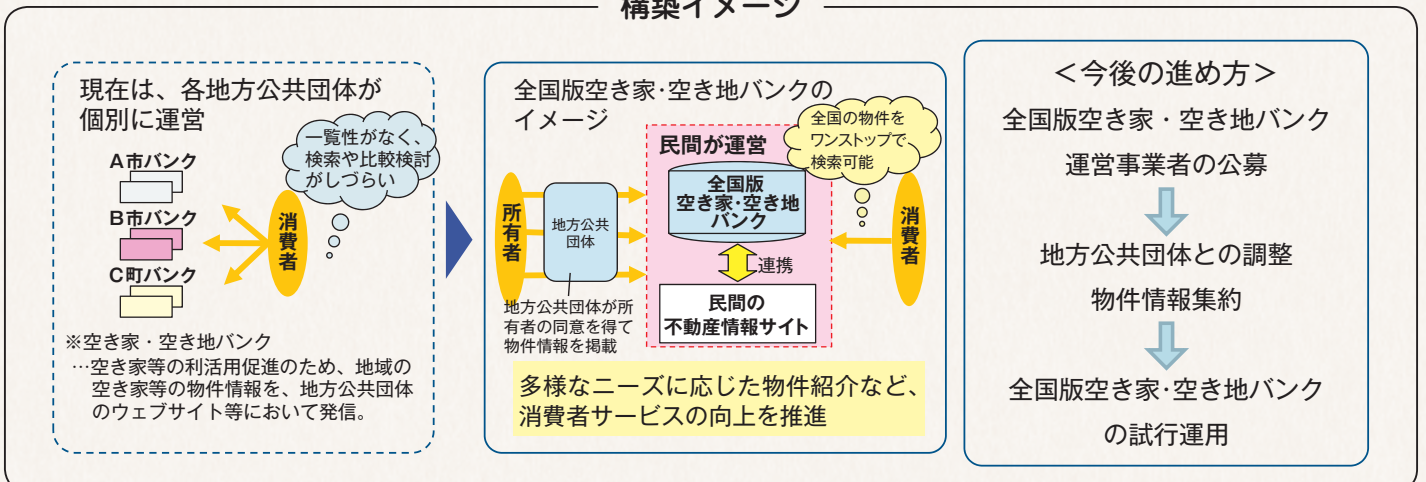


## 空き家バンク制度“全国版”開設

現在、空き家バンク制度は、地方自治体によって個別に運用されている。そのため、情報を調べるにはそれぞれの地域のホームページを閲覧しなければならず、また、掲載項目も統一されていないなどの課題があった。

そこで、国土交通省が利便性向上を図るため、情報を一元化した「全国版空き家・空き地バンク」の開設を決定。今秋にも全国の自治体から情報を集約し、ワンストップで各地の空き家情報にアクセス可能なポータルサイトがオープンする見込みだ。

### 構築イメージ





特集  
移住先で見つけた理想のわが家



# 豊後大野市で見つけた理想の環境 農業を軸にスローライフ確立を目指す

大分県豊後大野市 橋本信宏さん (40歳)

みゆきさん (44歳)

農業歴・1年7か月

【はしものぶひろ】富山県水見市出身。タイでのボランティア活動、東京でIT系会社の代表取締役を務めた後に就農を果たす。奥さんのみゆきさんは、大阪府出身。

IT系会社の代表取締役から農業へ転身  
豊後大野市で思い描く理想の農業とは

「九州に縁が無く、来たことがありませんでした」と語るのは、大分県豊後大野市の就農学校「インキュベーションファーム」を卒業し、昨年1月に独立就農した橋本信宏さん、みゆきさんご夫妻。富山出身の信宏さんは、高校卒業後にタイでボランティア活動に勤しんだ後、東京でIT系会社を立ち上げる。大阪出身のみゆきさんとは、この頃出会った。「ゲーム開発に携わっていましたが、日々目まぐるしく、自分の人生を生きている心地がしませんでした。」

信宏さんは、仕事であらゆる情報を収集する中、全国農業会議所の相談ブースに立ち寄った。

「相談員さんに『農業で暮らす人』の話聞いて、そういう生き方もあるかと、

目が開いたような気持ちになって。  
上京して10年、「地方で出来る次のこと」を模索していた時期でもあった。

**就農学校が移住成功のカギ  
地域の一員として農業に取り組む**

池袋で開催された「新・農業人フェア」で、熱烈的な誘いを受けたのが豊後大野市だった。信宏さんいわく、「口説き落とされて」数日間の短期研修に参加。自分たちだけでできるピーマン栽培、豊かな自然と、思い描く「スローライフ」実現の可能性を感じ、同市が運営する就農学校で2年間の研修へ進んだ。

「一番不安だったのが、人間関係のところがかりです。学校形式の研修なら、先輩や同期もいて安心でした。」

農業経験はなかったものの、指導員・三代重吉さんらの的確な指導により「簡単に収穫できました」という。





「大家さんにすごく喜んでもらえました。生まれ育った家が綺麗になると、やっぱり嬉しいですね」。

壁を塗り直し、畳を張り替え、天井裏に断熱材を入れる等、研修の合間にコツコツと改修を進めた。



↑純和風の住居。「広い家に住めるのは、地方移住ならではの」。

しつかりしていたため、市の空き家改修補助金80万円を使い、自分たちだけでリフォームできました。

研修期間中は夫婦で宿舎を利用し、2年目に三代さんに相談して引っ越し先を探し、ツテをたどって研修終了後に平屋の古民家を借りることができた。

「120坪の敷地に、家屋は10畳の座敷、8畳の奥座敷をはじめ4DKと広く、農機具やトラクターを収められる納屋もあります。それでいて家賃は月5000円と破格。築60年と古いものの、梁や柱がしつかりして」



↑中央が指導員の三代さん。橋本さんご夫妻との交流は今でも続いている。

「現在の農業は、収量増加や規模拡大に目が向けられています。僕たちはそうではなく、夫婦2人でピーマンを出荷し、自家栽培の野菜を食べて、スローライフを送りたい。そういう暮らしに憧れる人にお手本としてもらえたら」。

「山に囲まれている分、東京とは違うカラッと暑さです。夜には虫の声が聞こえ、風流と言いたいところですが、真っ暗だし動物も多くて、ちよつと出歩くのが怖いかも。フクロウやウサギ、屋根裏にムササビがいたこともあります」。

「5〜11月がピーマンの収穫期です。7月にはヤマジノギクを植え付け、11〜12月に収穫と、複合経営を行っています」。

ハウスの一棟はみゆきさんこだわりの家庭菜園で、バジル、スイカ、メロン、トマト、ニンニク等々、彩りも豊かだ。

「1日2〜3食、採れたての野菜を食べられる喜びは大きいですね」。

休日には地域で草刈りをしたり、お祭りに参加したり。地域住民全員と顔見知りになり、充実した生活が送れている。

「晴れて引っ越しを終えた最初の夏、蚊帳を吊るして眠ったのも、初めての経験だった」。

「山に囲まれている分、東京とは違うカラッと暑さです。夜には虫の声が聞こえ、風流と言いたいところですが、真っ暗だし動物も多くて、ちよつと出歩くのが怖いかも。フクロウやウサギ、屋根裏にムササビがいたこともあります」。

家から車で約3分、55aの圃場も、三代さんの紹介で借りたもの。市の補助金を利用してビニールハウス12棟を設置。その後自費で買い増しし、14棟が並ぶ。

「5〜11月がピーマンの収穫期です。7月にはヤマジノギクを植え付け、11〜12月に収穫と、複合経営を行っています」。

ハウスの一棟はみゆきさんこだわりの家庭菜園で、バジル、スイカ、メロン、トマト、ニンニク等々、彩りも豊かだ。

「1日2〜3食、採れたての野菜を食べられる喜びは大きいですね」。

休日には地域で草刈りをしたり、お祭りに参加したり。地域住民全員と顔見知りになり、充実した生活が送れている。

「晴れて引っ越しを終えた最初の夏、蚊帳を吊るして眠ったのも、初めての経験だった」。

「山に囲まれている分、東京とは違うカラッと暑さです。夜には虫の声が聞こえ、風流と言いたいところですが、真っ暗だし動物も多くて、ちよつと出歩くのが怖いかも。フクロウやウサギ、屋根裏にムササビがいたこともあります」。

家から車で約3分、55aの圃場も、三代さんの紹介で借りたもの。市の補助金を利用してビニールハウス12棟を設置。その後自費で買い増しし、14棟が並ぶ。

「5〜11月がピーマンの収穫期です。7月にはヤマジノギクを植え付け、11〜12月に収穫と、複合経営を行っています」。



↑リビングからは、自然豊かな風景が広がる。

### インキュベーションファーム



↑研修中の塚越さんご夫婦。

豊後大野市が運営する就農学校。JAピーマン部会や県・市の関係機関による指導体制のもと、西日本有数の生産量を誇る夏秋ピーマンを中心に栽培技術が習得できる。宿泊施設(2LDK・月額12500円)の完備や農業次世代人材投資資金(150万円・2年間)、農地の輪旋や空き家情報の提供等、就農までしっかりサポート。

### 研修生たちの良き相談相手

研修の時は、橋本さんご夫婦の話相手になったり、相談に乗ったり、畑を探したり。指導者というよりは、お世話係だったような気がします。橋本さんたちのように、遠方から豊後大野市に来られる人は、親戚や頼れる人がいないことも多いです。手助けとなるよう、心がけています。

インキュベーションファーム 指導員 三代重吉さん

### 指導員の声

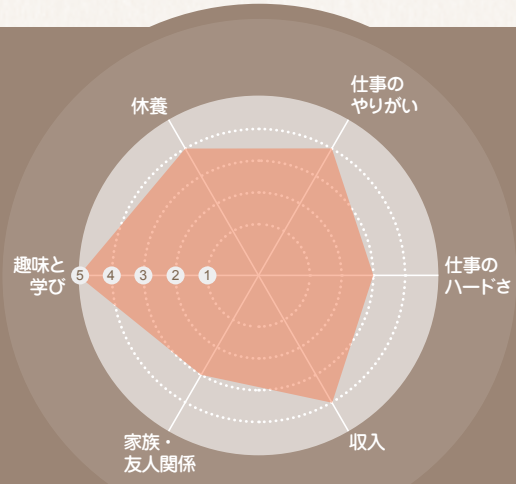


## Interview

### 忙しい時は手伝ったり、手伝ってもらったり 東京では希薄になっている助け合いの文化

ピーマンの収穫期は、5時に起床し、5時半には作業を始めます。11時半にはいったん家に帰り、15時頃までは休憩です。庭で選果して、出荷したら、また収穫に行き…。ピークの時はとても忙しいですが、ご近所の方が手伝いに来てくれるなど、助け合いを学びました。12月半ばから2月頃までは、翌年の準備をしつつ、のんびり過ごせています。

大名行列がもとになった伝統芸能「白熊(はぐま)」に、今年デビューしました。地域の一員になったことを実感します。





特集  
移住先で見つけた理想のわが家

林業  
Forestry

# 林業を生業とし 理想的な田舎暮らしを実現

愛知県豊田市 山本 圭吾さん (40歳)

林業歴・・・6年

「やまとけいご」愛知県名古屋出身。大学卒業後、海外生活を送る。帰国後に本格的に料理を学び、飲食業に身を置く。34歳の時に足助地区への移住を決意。妻の規光衣さん、眞之介くん、晴くんの元氣いっぱいな兄弟と4人家族で暮らしている。

## 静かな環境での暮らしを求め 都会暮らし・飲食業から一変

愛知県のほぼ中央に位置し、豊かな自然に囲まれた豊田市足助地区は、巴川と足助川が合流する付近には紅葉で有名な香嵐溪があり、紅葉の季節には多くの観光客が訪れる。山本圭吾さんはそんな足助に居を構え、豊田市森林組合に所属して林業に従事している。

同県名古屋で生まれ育った山本さんは、大学卒業後にオーストラリアへ渡航し、現地の文化・人間に触れながら視野を広げていった。帰国後、学生時代から携わってきた飲食業の経験から料理を本格的に学び、31歳の時に地元名古屋市に念願のオーガニックレストランを開く。

「この頃は林業に就業するとは全く予想していませんでした。飲食業が天職だと思っていましたから」と振り返る。だが、独立して3年目、経営の難しさから、

次のステップへの大きなチャレンジとして田舎への移住を決意する。

「山に移住した友人の畑仕事を手伝ったりして生活スタイルに触れたことがあり、山での暮らしに好印象を持ったことが移住のきっかけとなりました」。

友人がいたこともあり、移住先候補としてまず足助を訪れた。そこで偶然にも好物件を発見。すぐに市の空き家バンクに問い合わせて入居できると分かるやいなや、平成24年2月に足助に飛び込んだ。すぐに仕事探しを始めたが、足助での仕事は数も内容も限られてしまう。そんな時、森林組合が求人募集していることを聞き、林業の道へ進むこととなった。

「田舎暮らしをするにあたり、男のたしなみ」として自分で木の1本でも切れないとダメだな、という考えがありました。それならば仕事として木の切り方を覚えるのが一番安全かつ早いんじゃないかと思ひ、林業への就職を決めました」。



足助での新居と仕事を決め、山本家の新生活がスタートした。

足助に来て6年目だが現在の家は2軒目となる。最初の家には4年ほど住んでいたが、大家さんの事情により急ぎよ家を出なくてはならなくなってしまった。

現在の家との出会いは仕事の縁だった。近所の家に仕事で訪れた際、事情を知っていたその家の主人から現在の大家さんを紹介してもらい、今の家に引っ越すことができた。

新居は6LDK+納戸+土間とかなり広く、日当たりにも恵まれた好立地。敷地面積は400坪もあり、広い庭を生かして自分たちの畑を始められるなど、まさに理想的な物件であった。



↑築150年の旧家。元々はかやぶき屋根だったが、トタン屋根に改修されている。



↑昔ながらの「田の字型」の家は、それぞれの部屋が広くスペースに困らないという。「趣味の部屋」。

張り替えるなど、住みやすく手を加えている。伸び伸びと走り回る子ども達の姿からも住環境の良さがうかがえる。

「この辺りは人の流入が少ない地域ですが、排他的なことではなく、本当に良くしてもらっています」。

庭仕事をしていれば通りかかった近所さんから「やってるね！」と声を掛けられたり、夏場は畑で採れた野菜を食べきれないくらい分けてくれるという。

足助へ飛び込んできて、家や仕事、人間関係など「自分は縁々に恵まれているな」と感じる人が多いと話す。山本さんの気さくでまじめな人柄が良縁を呼び込んでいる。

### アポリカルチャーの魅力に引かれ木を切る楽しさを知った

「アポリカルチャー」（樹芸学）に基づく伐採方法はロープやハーネスを使って木に登り、上から少しずつ枝や幹などを切り、ロープを使って切った木を下ろすというもの。木のすぐ横に建物がある等、周辺に倒すことができない場合に用いられる。足助に来るまで林業の仕事を知りなかつたという山本さんだが、作業をする姿、道具など一つ一つの魅力にひ



↑サドルと呼ばれる安全帯にロープやカラビナ、チェーンソーを取り付けて木に登る。アポリカルチャーならではの道具。

### 家族の声

#### 私の方が山で田舎暮らしをしたかったんです！

最初は研修生なので収入面で多少の不安はありましたが、「ちゃんと仕事に就くならいいや」といった感じてしたね。林業はケガなどのリスクがありますが心配すれば止まらないので、必要以上には心配してません。いつも「気を付けてね」と送り出しています。仕事を変えてほしいなど考えたことはありませんね。実は夫より私の方がずっと田舎暮らしをして田畑を作りたいという考えがあったので、今の生活は充実していて楽しいし、とても幸せです。



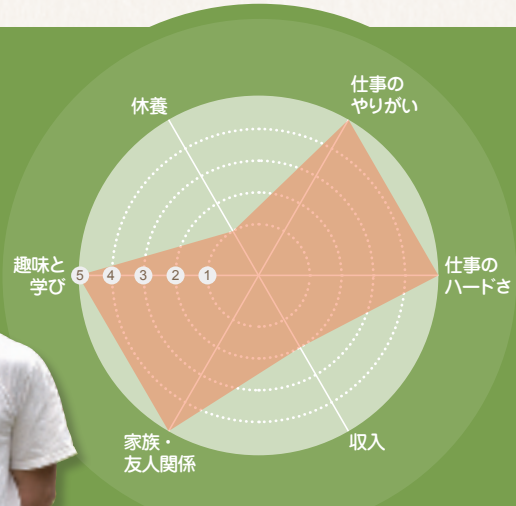
妻 山本 規光衣さん 長男 眞之介くん 二男 晴くん

と目で心を奪われたという。「大変ですが楽しく仕事をしています。技術はウソをつかないので、難しい作業に挑戦して技術を身に付けたい」と言う。「5年この土地に居てようやく地域の人たちにも認めてもらい、ここで死ぬまで住んでいくんだらうという覚悟があります」と田舎暮らしでの苦労話を語りながらも「足助で働いて、お金を稼ぎ、足助でお金を使えるのがすごくいいですね」と語る山本さん。その表情からは、忙しくも充実した日々を送っていることが自然と伝わってくる。

### Interview

#### 仕事もプライベートもやりたいことが多くて毎日があっという間に過ぎていきます

今住んでいる家の家賃は、敷地や建物の大きさからは考えられないほど安く貸してもらっているのですが、土地が非常に広いので管理が大変です。今（取材時6月）の季節は草刈りが一苦労ですが、休日に草刈りしたくないので仕事後に作業をしていて体はへろへろですよ。畑は自分たちが食べられる分の野菜を作りたいのですが、1年半～2年くらいかけて最近ようやく形になってきました。仕事の他にもやらなければならないことが多いですね。





特集  
移住先で見つけた理想のわが家



# シェアハウス生活で牡蠣養殖に挑戦！ 将来の独立を目指し奮闘する日々

宮城県石巻市 大野立貴さん(28歳) 漁業歴・1年3か月

「おのりつき」滋賀県大津市出身。高校卒業後に地元ホテルの厨房に勤務。23歳の時に北海道にわたり畜産業に従事した後、漁師を志し平成28年4月に石巻へ。シェアハウスに暮らしながら牡蠣養殖を学ぶ。結婚を機にシェアハウスを離れた。

## 畜産を経て漁業の世界へ 石巻の名産・牡蠣の養殖に挑戦

石巻市の東部、牡鹿半島にて漁業の世界に飛び込んだ大野立貴さん。平成28年4月から地元のベテラン漁師の下で牡蠣養殖の指南を受けており、将来的な独立を目指して奮闘している。

以前はホテルで調理の仕事をしていたという大野さんは、もともと一次産業に興味を持っていたこともあり、23歳から4年間は北海道で畜産業を経験。その後、漁業に関心を移し、縁あって石巻にたどり着いた。事前に「養殖業に就きたい」というイメージは持っていたが、具体的な魚種については石巻の漁業について学んだ上で決めたという。

「銀鮭とかホヤとかいろいろ見ましたけど、牡蠣が一番好きなので牡蠣の養殖に決めました。いろんなところの牡蠣を食べましたが、石巻の牡蠣が一番おいし

いです」。

大野さんの就業は、漁業の担い手育成を事業とする一般社団法人フィッシュヤーマン・ジャパンが支援した。平成26年に設立された同法人は研修プログラムを用意しており、大野さんも研修をとおして石巻における漁業の基礎を学んだ。

牡蠣養殖は、牡蠣の種(稚貝)を付着させたホタテ貝の殻を海に沈めて行う。石巻では、プラスチックの樽を海に浮かべ、牡蠣を連ねたロープを海中に垂らす「垂下式」と呼ばれる手法が主流だ。大野さんの現在の目標は、船の操縦技術を上



↑海に浮かぶ大量の樽。その下にロープが張られており、牡蠣がぶら下がっている。





## シェアハウス&担い手育成事務局の声 シェアハウス事業は石巻に拡大中!



シェアハウス「TRITON BASE」は石巻市内に5カ所あり、6カ所目の建設計画も進行中です。石巻市の水産業担い手センター事業を兼ね、研修プログラム作成に筑波大学の協力があるなど、産学官連携が進めています。漁業への就業やシェアハウスへの問い合わせは平均で1月に5件ほど。「気軽にお越しください」と言えるほど漁師は楽ではありませんが、興味を持った方にはぜひ体験に来ていただければと思います。

一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン  
プロジェクト管理本部マネージャー  
**島本 幸奈さん**

達させること。海に浮かぶ大きな樽と大量の牡蠣を効率よく安全に取扱うには、適切な操船技術が不可欠である。

「船はまだまだ思うように操縦できないけど、一人でできるようにならないと独立も何もない。基本だから頑張る身につけたい」。

牡蠣養殖を学んで1年と3カ月が経過し、一通りの作業を体験した大野さん。



↑水揚げした牡蠣を作業台に広げる大野さん。この後は一個一個手作業でむき身にし、出荷する。

「技術と知識を学び、経験を積んで早く一人前になりたい」。  
その姿勢は意欲的だ。

## 仕事と暮らしの基礎を築いた シェアハウスでの生活

石巻に移住してから約半年間、大野さんは漁業の担い手育成を目的に設けられたシェアハウスに暮らし始めた。これはフィッシャーマン・ジャパンのシェアハウス事業「TRITON BASE」の一つで、事業に賛同する地元住民から同法人が借り受け、リノベーションして新規就業者に住まいとして提供するという仕組みになっている。

「移住し、漁業に就業していただくには、仕事と住まい、そしてコミュニティを構築する場が必要です。シェアハウスを作ることで、同じ境遇の若者同士が自分の経験を話しながら仲良くやっていけたらいいと考え、運営に取り組んでいます」(フィッシャーマン・ジャパンの島本幸奈さん)。

大野さんが暮らしたシェアハウスは、3つの個室のほかにゲストルームと事務所スペースを構える作り。共用部には洗濯機や冷蔵庫、ガスコンロ等が備えられており、家賃は1月当たり3万円であ



↑大野さんが暮らした、牡鹿地区のシェアハウス「TRITON OSHIKA」。古民家を改装している。

る。移住時には仕事と生活環境が一変するだけに、経済的負担の軽減は当事者にとってありがたい。そして、言うまでもなく仕事場と住居は近い方がいい。漁業は始業が早い場合が多いためなおさらだ。石巻ではもともとは浜の近くには賃貸物件がなかったが、シェアハウスがあることで、移住者は遠方に住居を構えずにすむ。

結婚を機にシェアハウスを出た大野さん。30歳前後の若手漁師3人が一つ屋根の下で暮らした生活を振り返ってもらおうと、「家の中は新しく、特に風呂がきれいなのはうれしい」と設備面について好評価をつけた。「一人ひとり生活スタイルが違うのでもめたこともありましたが」ともいうが、取材中に現在の入居者と会話する様子は楽しげである。

他人の生活が否応なしに見えてしまうシェアハウスだからこそ、周囲を気づかう必要がある、赤の他人と深く交流するチャンスもある。地元を離れ一人で見知らぬ世界に挑戦する者が移住生活の基礎を築く上で、シェアハウスは恵まれた環境といえそう。

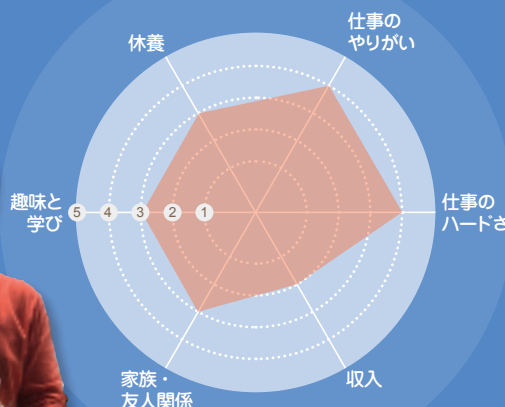


↑大野さんも太鼓判を押す、きれいな浴槽。

## Interview

### やればやっただけ成果が出る！ そこに仕事のやりがいを感じる！

1日のスケジュールは海の状態などで変わりますが、やるべきことをやったら帰るという分かりやすさが一次産業の良いところです。やればやっただけ成果が出るので、そこにやりがいを感じます。時間がある時は嫁と出かけますが、家庭を持つと仕事にも気持ちが入りますね。忙しい時期もありますが、今の生活には満足しています。ただ甘い世界ではないので、漁師を目指す人には思い込みではなく、シェアハウスも含めてしっかり自分の目で見て判断してほしいですね。



# 心と体

中村 顕治

【なかむら・けんじ】昭和22年山口県生まれ。33歳で築50年の農家跡に移住。現在は千葉県八街市在住。典型的な多品種少量栽培を実践。チャボを庭に放任飼育する。ブログ「食うために生きる一脱サラ百姓日記」<http://blogs.yahoo.co.jp/tamakenjijibaba>



**正** 月で古希となった。七十まで生きるは古来希なり。でも平成の今、七十歳はありふれた老人。その古希を記念したわけでもないが、二月、市民マラソン大会に出た。五十歳以上十キロの部。五十四分二十七位。僕は毎朝七キロ走る。そのトシなら立派なものですヨとほめてくれる人もいるが当人はチョッピリ不満。三十代半ば、十キロは三十四分、フルマラソンも三時間を切った。歳月は容赦ない…。

僕の畑は五反歩。北側は竹林、東と西は山林。機械はない。深く耕す必要のある大根も牛蒡も道具はスコップと鍬。篠竹や雑木は三キロ近くある分厚い鍬で退治する。肩、肘、手首に慢性的な痛みはあるが不快でなく、仕事に支障もない。チェーンソーと草刈り機もない。草はスコップで削り取る。直径四十七センチくらいの木ならノコギリで切れる。切った木は灰を作るため焚き火の現場まで肩に担ぐ。それで常に腰に痛みはあるが、ギックリ腰になったことはない。



どうして機械を使わないか。メカに弱いから。免許を取って三十年。昨年ラジエターが壊れ、初めてポンネットを開けた。近所の友人にポンネットを開いて留める長い金具の使い方からして教わるという体たらくだった。



**鍬** とスコップだけで三十何年。単にメカに弱いという理由だけではない。僕の「百姓志願」は古い時代への回帰願望だった。六十年前、同級生の農家宅に機械はなかった。庭先には鶏がいて、母屋の裏には豚や牛。子供心に思った、いいなあ、楽しそう…。農薬を使わず、肥料は鶏糞と落ち葉と木灰。この農法も立派な思想あつてのことではなく、昔の農家を真似してみたかっただけ。そして知った。たいていのことは手作業で可能ということ。毎日手作業を続けていると体力は消耗ではなく増強する。

手作業といえは屋根もそう。三十年前、地震で屋根瓦が壊れた。毎年、入梅前にメンテナンス。二十キロの土嚢を抱いて脚立から屋根に飛び移る。傾斜のきつい屋根を、転ばぬよう、滑



らぬよう、コンクリの入ったバケツを持って伝い歩く。ウン、まだいける。ただし出来栄えはひどい。そばにいる女性がその屋根の有様を悲しみ、肩をすくめる。僕は強がりやを言ふ。なに、人も家も見ただ目ではないぞ。つまらぬ強がりだが自分の暮らしは自分の力と工夫で守る。それが存外、楽しく面白い。

我が家は築三十六年。耐震性を増すため壁を補強、なんともかたして来た。そしてまた強がり。家なんて雨風しのげればいいのさ。そうはいつでも日々の暮らしに潤いは必要だ。一の潤いのため働く。このパランスが僕は好き。不器用を自認する男がその潤いを求めてノコギリを手にする。タイトルわきの写真。東向きの窓を耐震補強ついでに山小屋風にと目論む。外に花鉢を置く台、内にステンドグラスを置く台。



**畑** 仕事を終える冬なら五時、夏なら七時、車のタイヤに両足を挟み腹筋を二百。まだ陽がある時は腹筋しつつ夕刊を読む。次にヤマモモの木で懸垂を二百。百姓は腰の曲がりが不可避。目的は腰伸ばしだったがついでに懸垂も始めた。わが姿は場末の踊り子みたいか。懸垂二十回やるごとに作業着を一枚脱ぐ。真冬は八枚くらい着ていて、靴下を脱ぐ頃には合計二百回。最後の二十回はパンツ姿だ。



これが皆さんの目に触れる頃は盛夏。僕は上半身裸で鍬を持つ。帽子、日除けタオルなど遮蔽物が嫌い。紫外線？シミが出来る？それがどうした。お天道様をそんなに悪く言っちゃいけない。我らに大いなる恵みを与える偉大な味方なのだから。

「移住」は人生のビッグイベントだ。僕がそうであつたように人生予期せぬ事が起こる。でも悲観が過ぎてもダメ。トラブルに遭遇して一番悪いのは心が腐ることだ。野菜果樹を問わず根腐れが最も怖い。枝や葉が少々枯れても立ち直れるが、根が腐つてはアウト。まあなんとかなるサ。この樂觀がよく動く肉体へ導く。健全なる肉体が軽やかな精神をもたらす…その好循環。心と体は見事に、強く、関わりあつている。

# 農業経営を志す人へ

## ～農業経営の発展過程と経営管理を考える～

第②回

解説

高田 武 (たかた・たけし)

栃木県農業会議 嘱託職員

昭和54年4月に栃木県農業会議に就職し、農業者年金、農地法等の業務、農業法人協会等農業者組織の運営等を担当。特に、家族経営協定、複式農業簿記の記帳指導や税務指導、集落営農・女性起業の運営、農業経営の法人化・運営指導の分野に実践的な知見を有する。

著書

『よくわかる農家の青色申告』『農業者のための消費税の届け出から申告まで』『複式農業簿記実践テキスト』(以上、全国農業会議所) 他



### 農業経営の発展過程と経営管理

#### ステップ1 個人経営

☑ 経営と家計の未分離状態

(どんぶり勘定・白色申告・就業環境の未整備)



#### ステップ2 個人経営

☑ 経営と家計の分離の展開

(収支計算・青色申告・家族経営協定等就業条件の整備)



#### ステップ3 個人経営

☑ 経営と家計の分離の発展

(複式簿記・青色申告)

☑ 家族経営協定の実践

(部門・役割分担、給与制、休日制、労働保険・退職金等就業環境の充実、経営継承・相続対策の検討)

☑ 雇用の導入

(ゆとりある時間の確保、雇用に對する経営者責任の自覚)



#### ステップ4 法人経営

(法人化よりよい経営・生活のための手段)

☑ 経営と家計の完全分離

☑ 家族経営協定の充実した実践

(法に基づく就業条件・環境の充実、部門・役割分担の明確化)

☑ 法人化のメリット確保

(経営継承・経営後継者の確保対策、経営多角化・規模拡大の優位性、雇用より優秀な人材の確保、経営哲学・経営戦略の構築、社会貢献)

☑ Big で Good な経営

### 発展段階「ステップ2」 個人経営(経営と家計の分離の展開)

収支計算・青色申告、家族経営協定等就業条件の整備  
経営と家計の分離

過去において、後継者の農業就業者形態は、長子相続が慣例である農村で、長男が家を継ぎ、家業である農業を継ぐという形態が多くとられていました。

社会・経済環境が発展し、農業を巡る環境も変化してきた中において、現在では、従来の様な農業就業をはたす農業者もある一方、「こういう農業をしてみたい」、「こういう農産物を作り、消費者に届けたい」等、志を持って、農業を「職業」として選択し、就農するケースが多いように感じます。

実際に就農すると、最初には生産技術不足や圃場環境の整備、病害や天候などの厳しい自然条件の克服など多くの課題克服に対応していかなければなりません。農業を楽しみながら経営理念を実現していただきたいと思えます。

さて、「職業」としての農業を選

択し就業する場合、法人等に就職する「雇用就農」と農業経営者として、もしくは農業後継者として「自営」就農する場合があります。

法人等に就職した場合は、給与や休日、年金・退職金等就業環境が整備されており、職業としての農業と家庭生活等の分離がなされています。

一方、自営の農業経営を始めた場合、経営者として、自分で経営管理を行っていかなくてはなりません。

職業として農業を選択したのですから、前回ご説明したステップ1の状況から、家族等と相談しながら環境整備をし、財務・時間等の経営と家計の分離を図るべく、次で述べるステップ2の段階まで進んでいくようにしましょう。

青色申告の導入  
所得税申告には白色申告と青色申告がありますが、青色申告には

次のような特典があり、経営と家計の分離を意識的に図ることができ、必要経費算入

(1) 青色事業専従者の給与等の必要経費算入  
農業が、女性や若者にとつて、魅力ある職業・産業となるためには、イエ(家)を中心とした経営から、それを構成し支える個人の地位・役割を明確化し尊重する経営に変わることが重要です。このための条件の一つとして、働いた、経営に寄与した割合に応じた適切な労働報酬を得ることが大切になります。

青色申告では、青色申告者(経営者)と生計を一にする15歳以上の親族で専ら農業に従事している場合、支払った給与・賞与が適正であれば全額必要経費に算入でき、節税が図れ、従事者にもやりがいがあります。

(2) 青色申告特別控除  
青色申告を行うためには、簿記を記載します。簿記には「簡易(単式)簿記」と「複式簿記」がありますが、就農後まもなくは申告に必要な「損益計算書」が作成できる単式簿記でもよいので、数字による経営把握を行い、収益力向上のため、生産・販売管理等の対応を行います。なお、費用科目の設定にも留意し、家計との分離を図ります。

青色申告では、単式簿記で10万円までの特別控除があります。

財務の経営と家計の分離をより進めるには、資金管理もできる複式簿記がお勧めです。なお、複式簿記では65万円までの特別控除があります(ステップ3で説明します)。

(3) 青色申告によるその他の特典(認定農業者・認定新規就農者の場合)  
青色申告者は、農業者年金制度、保険料の国庫補助の対象となり、農業経営基盤強化準備金制度も活用できます。

家族経営協定の締結と実践  
家族従事者がいる経営では、前記青色申告による家族への給与等支払いを行い、労働時間の取り決めや休日の確保、家族の経営での役割分担等を決めて実践していくことが大切です。

行政や農業委員会では、このことを文章化し、意識を高めて経営していく「家族経営協定締結の運動」を進めています。個を尊重し、就業環境の改善と経営と家計の時間等の分離を進めていきます。

参考図書  
平成28年度版  
よくわかる農家の青色申告  
発行：(一社)全国農業会議所  
定価：800円  
規格：A4判・135頁

※お求めは、お住まいの都道府県の農業会議へご注文いただくか、全国農業図書のHPからお申込みください。

### 参考図書

よくわかる農家の青色申告



全国農業図書 検索

# 第2回

平成 29 年度

農林水産省・文部科学省後援

# 日本農業技術検定 のご案内



撮影協力：JA ふくおか八女

日本農業技術検定は、農業高校からの進学・就職や農業大学校・大学での資格取得、農業法人等で学ぶ研修生の研修効果の確認のほか、JA 営農指導員や都道府県農業改良普及員・民間農業関連企業・農業法人社員の技術レベルの向上にも利用するなど社会人にも幅広く活用されています。

受験者は年々増加しており平成 28 度は 2 万 5 千人を超える受験があり、これまで 19 万人以上の受験者がありました。

農業法人での研修生（農の雇用）は本検定を受験しており、農業法人では一定レベルの資質をもった従業員を求めているので、採用にあたって資格を優遇する法人も増えています。

また、最近では JA 営農指導員の受験者が増加しており、一部の JA では日本農業技術検定 2 級資格以上を営農指導員上位資格の要件の一つとしています。

就農や農業法人、JA 等就職のためにぜひ日本農業技術検定を受験しましょう！

### 過去問題集で バッチリ対策、実力アップ！

▶ お申し込みは都道府県農業会議（P19）  
または HP から

全国農業図書

検索



## 職員の営農指導資質の向上には「日本農業技術検定 2 級」資格は有効

JA グリーン近江 人事課（日本農業技術検定合格体験記より）

滋賀県の JA グリーン近江（正組合員 8,750 人 平成 28 年 1 月末日現在）では今年初めて日本農業技術検定を団体受験した。全体朝礼での理事長による紹介がきっかけだった。平成 27 年度の受験者数は総勢 160 人で農協全正職員 451 人の約 3 割強にも上る。JA グリーン近江には本店のほか 15 の支店があるが、人事課が事務局となり営農事業部の TAC 職員を中心に、支店の営農経済担当者や他の事業部の職員等、支店・事業部を問わず多くの者が受験した。

2 級受験者の感想として「日本農業技術検定のことは受験するまで知らなかったが、農業の実地に役立つ問題が多く、職員の資質向上には有効な試験ではないだろうか」、「最近では農業経験のない職員も多いし、営農事業部以外の職員にも必要な知識だ」という声も聞かれた。

## 平成 29 年度 第 2 回学科試験日程

1. 試験日	【第 2 回】平成 29 年 月 日（土）	受験者数	合格率	3 級試験科目別合格率 70 65 60 55 50 (%) 栽培系 62 畜産系 67 食品系 64 環境系 53		
2. 試験科目	3 級	3 級	20,183 人		62.2 %	
	2 級・1 級	3. 試験結果 (28 年度)	2 級		5,350 人	18.5 %
		1 級	308 人		8.4 %	
		計	25,841 人		52.5 %	

※ 2 級学科試験合格者で 2 級実技試験受験希望者は平成 29 年 11 月 11 日（土）に実技試験を行います。免除措置もありますので詳しくはホームページをご参照下さい。

第 2 回受験のお申し込みは 10 月 2 日（月）から [日本農業技術検定ホームページ](https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/) で！

<https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>





# 君のチャレンジを全力で応援します 東北のど真ん中“いちのせき”

実感・体感・共感をまるごと味わう

## 「いちのせき農業チャレンジモニター体験会」参加者募集

- 募集対象者** 概ね 40 歳未満で農業に関心のある方
- 募集人員** 6 名
- 実施日** 平成 29 年 9 月 2 日 (土) から 9 月 3 日 (日) の一泊二日
- 募集期間** 募集中～ 8 月 25 日 (金) まで
- 体験内容** 野菜の収穫と先輩新規就農者との交流
- 参加経費** 9,000 円程度
- 集合場所** JR 一ノ関駅 東口(集合場所までは参加者で手配)
- 申込み** 市が用意する申込書により、FAX 又はメールで受付



お問い合わせ・申し込み先

### 一関市役所農林部農政課

〒 021-8501  
岩手県一関市竹山町 7 番 2 号

☎ 0191-21-8421 FAX 0191-21-4221

E-mail manabusa@city.ichinoseki.iwate.jp

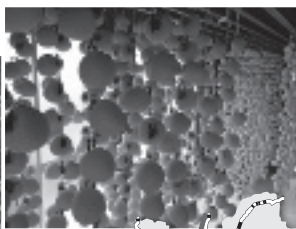
担当：農村定住・就農支援員



# 3泊4日で農家のお手伝いをしてみませんか？ ワーキングホリデー飯田 参加者募集！

忙しい時期の農家をお手伝いいただく援農ボランティア「ワーキングホリデー飯田」へは年間400名ほどの方が参加。

「農業に関心がある」「将来就農を考えている」「農家の生活を体験したい」という皆さん、どうぞ飯田へ「おいでなんしょ！」



### ◎2016年ワーキングホリデー参加者の声

- ・農家の方が美味しいりんごを作るために、消費者には分からない細かい工夫や大変な苦勞をされていることが少しですがわかり、とても良い経験となりました。(60代/女性)
- ・スーパーではなかなか見ることのない、いびつな形の野菜にも愛着が湧きました。季節の移り変わりや、日々の天気をこんなにも意識したことは無かったです。自然とともにすご丁寧に過ごした4日間でした。(20代/女性)

### 秋のワーキングホリデー

- 日程(予定)  
第1回 平成29年11月2日(木)～11月5日(日)  
第2回 平成29年11月23日(木・祝)～11月26日(日)
- 宿泊・食事/作業をする農家にて提供。食事は初日夕方から最終日昼食まで。
- 作業内容/市田柿収穫加工、リンゴ収穫、ネギ収穫など。
- 募集人員/第1回、第2回合わせて100名程度。
- 参加費/無料。ただし、現地までの交通費は参加者負担。
- 募集期間/平成29年9月1日(金)～9月19日(火)
- 応募方法/インターネット又は、申込書請求のうえ郵送かFAXでお申込みください。
- ボランティア保険に事務局負担で加入。実施日の2週間ほど前までに参加の可否をお知らせします。

### 春のワーキングホリデー飯田

- 日程/ゴールデンウィーク期間
- 募集期間/毎春3月1日より申込受付開始

### その他の期間

- 農閑期1～2月を除き、随時募集中です。事務局までお気軽にお問い合わせください。

### お問い合わせ先

## 長野県飯田市役所農業課 農業振興センター係内 ワーキングホリデー飯田事務局

〒395-0817 長野県飯田市鼎東鼎 281

☎ 0265 (21) 3217

FAX. 0265 (52) 6181

E-mail : worholi@city.iida.nagano.jp

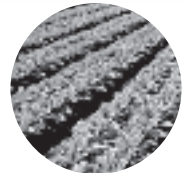
飯田市 ワーキングホリデー 検索

## とくしま就農スタート研修

求む

徳島県では、本県で新たに農業を始めたい方が、円滑に就農出来るよう、県内の農業法人等が研修生として雇用し、実践的な技術を得ていただくための研修制度「とくしま就農スタート研修事業」の参加者を募集しています。

# 農業研修生・受入経営体



### 農業研修生の募集 (詳細な要件、申込書は下記、ホームページに掲載)

- 【主な応募資格】 ●徳島県で就農する強い意欲をお持ちの方 ●55歳未満であること  
●普通運転免許証を有する者
- 【研修のメリット】 ●農業技術、経営ノウハウの習得
- 【募集期間】 ●(第2次募集)平成29年10月16日まで
- 【募集人数】 ●20名程度
- 【研修期間】 ●(第2次募集)平成29年12月1日～平成30年2月28日



### 受入経営体の募集 (詳細な要件、申込書は下記、ホームページに掲載)

- 【主な応募資格】 ●新規就農者を育成する意思と能力を備えていること  
●研修生を雇用し、賃金を支払うこと  
●期間の定めのある雇用契約を締結すること  
●周年を通じて、月間140時間以上の労働時間を確保すること  
●労働保険に加入すること
- 【募集期間】 ●(第2次募集)平成29年10月16日まで
- 【研修経費助成】 ●研修費:上限月額97,000円  
●指導者研修費:上限36,000円



お問い合わせはお気軽にどうぞ

## 一般社団法人 徳島県農業会議

徳島市北佐古一番町5番12号 徳島県JA会館8階

とくしま就農スタート | Q

TEL.088-678-5611 FAX.088-678-5664

E-mail:home@tokukaigi.or.jp http://www.tokukaigi.or.jp/



## 全国農業図書

### 新たに農業経営を始める人の必見図書!

はじめてのパソコン農業簿記 改訂7版  
ソリマチ(株)「農業簿記10」体験版 CD-ROM付



ソリマチ(株)の農業簿記ソフト「農業簿記10」に対応した最新版。前半で簿記の基本、後半でパソコン簿記を学習できるよう構成した演習用テキストで、パソコン簿記を始めたい人に最適の入門書です。  
図書コード: 28-43  
定価: 2,880円  
規格: A4版 163頁

### 「わかる」から「できる」へ 複式農業簿記実践テキスト

簿記の学習のヤマ場といわれる「仕訳」について、多くの例を掲載。実際の簿記相談に裏打ちされた仕訳例は、活用の手元で即戦力になります。簿記帳のイロハから実務まで網羅した手引書として、初心者、実務経験者の心強い味方になるものです。  
図書コード: 29-11  
定価: 1,650円  
規格: A4版 130頁



全国農業図書

検索

## (公社)新潟県農林公社 青年農業者等育成センター

### 新潟で互いに☆夢を叶えよう!



若手農業者  
活躍中

### 支援1 就農相談の実施(専任の相談員が対応)

東京	7月16日(日)、8月中旬、 9月17日(日)、10月中旬、 12月17日(日)、1月中旬、 2月下旬	ふるさと回帰支援センター	食と農の魅力発信 就農相談
新潟	8月5日(土)	ANA クラウンプラザホテル新潟	新潟県内の農業 法人等との就業 面談
	11月26日(日)	新潟東映ホテル	就農・就業相談
	2月24日(土)	新潟県庁	
	10月28日(土)	パストラル長岡	

※「新・農業人フェア」(東京会場:7/23、2/10 大阪会場:1/27) 出展。  
※新潟県新規就農相談センターでは、9～16時(土日祝日を除く)に面談や電話等で相談に対応。

### 支援2 体験・研修 プログラムの提供

### 支援3 農業の 就業先を紹介

お問い合わせ

新潟県新規就農相談センター

検索

(公社)新潟県農林公社  
青年農業者等育成センター

(一社)新潟県農業会議 事業推進部

☎ 025-281-3480  
FAX 025-281-3481

☎ 025-223-2186  
FAX 025-223-2401

# I・J・Uターン農林漁業就業相談窓口



活用しよう!! WEB iju info  
URL http://web-iju.info/

## ●地元に設置されているI・J・Uターン定住・相談窓口 (注) 定=定住情報、就=就職相談窓口

地域	団体名	定	就	電話番号	所在地
北海道	北海道移住・交流総合案内窓口	定		011(251)1055	札幌市中央区北1条西7丁目1 プレスト1・7ビル4階
青森県	青森県企画政策部地域活力振興課移住・交流推進グループ	定		017(734)9174	青森市長島1-1-1
岩手県	定住・交流サポートセンター (公財)ふるさといわて定住財団	定		019(629)5194	盛岡市内丸10-1 県庁地域振興室内
	いわてU・Iターンサポートデスク		就	019(653)8976	盛岡市大通3丁目2番8号 岩手県金属工業会館6階
	(公財)秋田県ふるさと定住機構		就	019(621)1171	盛岡市菜園1-12-18 盛岡菜園センタービル5階ジョブカフェいわて内
秋田県	NPO法人秋田移住定住総合支援センター	定		018(826)1731	秋田市御所野地蔵田3-1-1 秋田テルサ3階
	すまいる山形暮らし案内所	定		018(893)3981	秋田市御所野地蔵田3-1-1 秋田テルサ1階
山形県	ふるさと福島就職情報センター福島窓口		就	023(630)3083	山形市松波2-8-1 県庁内
福島県	福島県地域振興課	定		024(525)0047	福島市三河南町1-20 コラッセふくしま2階
	栃木県総合政策部地域振興課	定		024(521)8023	福島市杉妻町2-16
栃木県	とちぎジョブモール		就	028(623)2236	宇都宮市塙田1-1-20 県庁内
	“ふじのくにに住みかえる”静岡県移住相談センター	定		028(623)3226	宇都宮市駅前通り1-3-1 KDX宇都宮ビル1階
静岡県	愛知県交流居住センター	定	就	054(221)2610	静岡市葵区追手町9-6 県庁西館6階静岡県くらし・環境部政策監内
愛知県	新潟県U・Iターンコンシェルジュ新潟事務局	定	就	052(232)1750	名古屋市中区錦1-11-20 大永ビル5階
新潟県	富山くらし・しごと支援センター富山オフィス	定	就	025(374)7410	新潟市中央区上大川前通7番町1230-7 ストックビル鏡橋3階
富山県	いしかわ就職・定住総合サポートセンター (公財)いしかわ農業総合支援機構	定	就	076(431)3691	富山市宝町1-3-10 明治安田生命富山ビル8階(株)パソナ・富山内
石川県	ふるさと福井移住定住促進機構	定	就	076(235)4540	金沢市石引4-17-1
福井県	長野県企画振興部地域振興課(信州暮らし案内人)	定	就	076(225)7621	金沢市鞍月2-20
長野県	長野県産業労働部労働雇用課	定	就	0776(43)6295	福井市手寄1丁目4-1 アオッサ7階
	清流の国づくり政策課移住定住まちづくり室	定	就	026(233)1794	長野市大字南長野字幅下692-2 県庁内
岐阜県	おしごと広場みえ		就	026(235)7118	長野市大字南長野字幅下692-2 県庁内
三重県	三重県地域連携部地域支援課	定		058(272)8078	岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁3階
京都府	京の田舎ぐらし・ふるさとセンター	定		059(222)3300	津市羽所町700 アスト津3階
	京都ジョブパーク農林水産業コーナー		就	059(224)2420	津市広明町13
兵庫県	ひょうご・しごと情報広場		就	075(441)6624	京都市上京区出水通小路東入ル丁子風呂町104-2 府庁西別館2階
奈良県	奈良県 県・市町村ワンストップ窓口	定		075(682)1800	京都市南区東九条下殿田町70 京都テルサ西館3階
	奈良しごとiセンター	定	就	078(360)6216	神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー 12階
和歌山県	和歌山県企画部地域振興局移住定住推進課	定		0744(48)3016	橿原市常盤町605-5 総合庁舎3階
	和歌山県ふるさと定住センター	定		0742(23)5730	奈良市西木辻町93-6 エルトピア奈良1階
	和歌山県農林大学校就農支援センター		就	0735(78)0005	和歌山市小松原通1-1
	わかやま定住サポートセンター	定	就	0738(23)3488	東牟婁郡古座川町直見212
鳥取県	(公財)ふるさと鳥取県定住機構	定	就	073(422)6110	和歌山市本町1-22 Wajima本町ビル1階
	鳥取県移住定住サポートセンター	定	就	0857(24)4740	鳥取市扇町7 鳥取フコク生命駅前ビル1階
鳥根県	(公財)ふるさと鳥根定住財団	定	就	0120(841)558	鳥取市扇町7 鳥取フコク生命駅前ビル1階
岡山県	岡山県中山間・地域振興課	定		0852(28)0690	松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
	岡山県労働雇用政策課		就	086(226)7862	岡山市北区内山下2-4-6 県庁8階
広島県	広島県地域力創造課	定		086(226)7599	岡山市北区内山下2-4-6 県庁7階
	広島県無料職業紹介所		就	082(513)2581	広島市中区基町10-52 県庁南館2階
山口県	やまぐち暮らし総合支援センター	定	就	082(513)3422	広島市中区基町10-52 県庁東館3階
徳島県	とくしまジョブステーション		就	083(976)0277	山口市小郡高砂町1-20
香川県	かがわ就職・移住サポートセンター	定	就	088(625)3190	徳島市寺島本町西1丁目61番地 徳島駅クレメントプラザ5階
愛媛県	愛媛ふるさと暮らし応援センター	定		087(832)3900	高松市番町4-1-10県庁東館4階
	ふるさと愛媛Uターンセンター		就	089(922)4110	松山市宮西1丁目5番19号 愛媛県商工会連合会館3階
高知県	高知県移住・交流コンシェルジュ	定	就	089(913)8686	松山市湊町3丁目4番地6 松山銀天街GET!4階
	高知県事業承継・人材確保センター(U・Iターン就職支援室)		就	088(823)9336	高知市丸ノ内1-2-20 高知県庁3階
佐賀県	さが移住サポートデスク	定	就	088(855)7748	高知市本町2-2-29 畑山ビル5階
長崎県	ながさき移住サポートセンター(長崎本部)	定	就	0952(25)7551	佐賀市城内1-1-59 新行政棟1階
熊本県	熊本県企画振興部地域振興課	定		095(894)3581	長崎市江戸町2丁目13 県庁内
	熊本県U・Iターン就職支援センター熊本窓口		就	096(333)2135	熊本市中央区水前寺6-18-1
大分県	おおいた産業人財センター		就	0120(827)867	熊本市中央区水道町8-6 朝日生命熊本ビル1階くまジョブ熊本県しごと相談・支援センター内
	おおいた暮らし相談窓口(大分)	定		0120(119)201	大分市中央町3-6-11 ガレリア竹町内
宮崎県	宮崎ひなた暮らしU・Iターンセンター宮崎本部	定	就	097(506)2038	大分市大手町3-1-1 大分県庁舎本館3階
鹿児島県	鹿児島県企画部地域政策課	定		0985(27)3685	宮崎市錦町1-10 宮崎グリーンスタジアム番館[KITEN]3階みやざきJOBパーク+内
		定		099(286)2424	鹿児島市鴨池新町10番1号

●全国の就職情報や関連情報を提供する窓口

地方就職支援コーナー〔地方や農林漁業に関する職業相談、就職紹介、求人情報等の提供（国の機関）〕	03 (5419) 8609	東京都港区芝5-35-3
まちむら交流きこう 広報情報センター部〔農林漁業体験の情報提供〕	03 (4335) 1982	東京都千代田区神田東松町45 神田金子ビル5階
移住・交流推進機構（JOIN）	03 (3510) 6581	東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル13階

●道県I・J・Uターン就職情報等提供・相談窓口

（注）農＝農業就業情報、林＝林業就業情報、漁＝漁業就業情報、定＝定住情報、求＝地元企業求人情報

地域	団体名	農	林	漁	定	求	電話番号	所在地
北海道	北海道移住情報コーナー	農			定	求	011 (204) 5089	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15階 北海道東京事務所室内
	北海道ふるさと移住定住推進センター「どさんこ交流テラス」	農	林	漁	定	求	090 (1541) 0011	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
青森県	あおりUターン就職支援センター					求	03 (3238) 9990	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館7階 青森県東京事務所内
	青森暮らしサポートセンター	農	林	漁	定		090 (6342) 6194	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
岩手県	岩手県Uターンセンター	農			定	求	03 (3524) 8284	東京都中央区銀座5-15-1 南海東京ビル1階 いわて銀河プラザ内
	いわて暮らしサポートセンター	農	林	漁	定		080 (8871) 1741	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
宮城県	みやぎ移住サポートセンター（東京）	農	林	漁	定	求	03 (6734) 1344	東京都千代田区大手町2-6-2
	みやぎ暮らし相談センター	農	林	漁	定		090 (1559) 4714	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
秋田県	Aターンプラザ秋田				定	求	0120 (122) 255	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館7階 秋田県東京事務所内
	あきたで暮らし！Aターンサポートセンター	農	林	漁	定	求	080 (9292) 5195	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
山形県	秋田県大阪事務所					求	06 (6341) 7897	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階
	山形県Uターン情報センター					求	03 (5212) 8996	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館13階 山形県東京事務所内
	やまがたハッピーライフ情報センター		林	漁	定	求	03 (6269) 9533	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	山形県大阪事務所	農				求	06 (6341) 6816	大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前ビル第1ビル8階
福島県	福が満開、福しま暮らし情報センター	農	林	漁	定		03 (6551) 2989	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	茨城県	いばらき暮らしサポートセンター	農	林	漁	定	080 (9552) 5333	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	いばらき移住・就職相談センター	農	林		定	求	03 (5212) 9088	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館9階 茨城県東京事務所内
	栃木県	とちぎ暮らし・しごと支援センター	農	林		定	080 (9502) 5985	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
群馬県	ぐんま総合情報センター「ぐんまちゃん家」	農			定	求	03 (3546) 8511	東京都中央区銀座5-13-19 デュープレックス銀座タワー 5/13 1・2階
	埼玉県	埼玉アグリライフサポートセンター	農	林		定	090 (1559) 4781	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
山梨県	やまなし暮らし支援センター	農	林		定	求	03 (6273) 4306	東京都千代田区有楽町2-10-1 ふるさと回帰支援センター内
	やまなしU・Iターン就職情報コーナー大阪	農	林		定	求	06 (6344) 5961	大阪市北区梅田1-1-3-2100 大阪駅前第3ビル21階 山梨県大阪事務所内
富山県	富山くらし・しごと支援センター 白山オフィス					求	0120 (108) 250	東京都文京区白山5-1-3 東京富士会館ビル5階
	富山くらし・しごと支援センター 有楽町オフィス				定		080 (8870) 2456	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
石川県	いしかわ移住Uターン相談センター	農	林	漁	定	求	03 (6734) 1497	東京都千代田区大手町2-6-2 パソナグループ本部内
	いしかわ移住Uターン相談センター(ILAC東京)	農	林	漁	定	求	090 (1541) 8786	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
福井県	ふるさと福井移住定住促進機構 東京オフィス	農	林	漁	定	求	03 (6273) 4322	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	ふるさと福井移住定住促進機構 大阪オフィス	農	林	漁	定	求	06 (6226) 1688	大阪市中央区瓦町2-2-14 福井県大阪事務所内
長野県	長野県移住・交流センター	農	林		定	求	03 (6274) 6016	東京都中央区銀座5-6-5 NOCOビル4階
	清流の国ぶふ 移住・交流センター	農	林		定	求	080 (7749) 3317	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
三重県	ええとこやんか三重 移住相談センター	農	林	漁	定	求	080 (9512) 5093	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	新潟県	にいがたUターン情報センター	農	林	漁	定	求	03 (5771) 7713
	新潟県U・Iターンコンシェルジュ 東京事務局	農	林	漁	定	求	03 (6734) 1358	東京都千代田区大手町2-6-4 (株式会社パソナグループ本部内)
	にいがた移住支援デスク・コスムにいがた(表参道オフィス)	農	林	漁	定	求	03 (3479) 1415	東京都渋谷区神宮前4-11-7 表参道・新潟県ネスバス2階
	にいがた移住支援デスク・コスムにいがた(有楽町オフィス)	農	林	漁	定	求	090 (1657) 7263	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	静岡県	静岡U・Iターン就職サポートセンター	農	林	漁	定	求	0800 (800) 6617
奈良県	奈良県ふるさと人材相談窓口(奈良県東京事務所内)				定	求	03 (5212) 9098	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館9階 奈良県東京事務所内
	和歌山県	和歌山県東京事務所	農	林	漁	定	求	03 (5212) 9057
	わかやま定住サポートセンター（東京）				定	求	03 (6269) 9883	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	大阪ふるさと暮らし情報センター				定	求	06 (4790) 3000	大阪市中央区本町橋2-31 シティプラザ大阪1階 大阪ふるさと暮らし情報センター内
鳥取県	鳥取県移住定住サポートセンター（東京）	農	林	漁	定	求	0120 (372) 315	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館10階 鳥取県東京本部内
	鳥取県移住定住サポートセンター（大阪）	農	林	漁	定	求	0120 (928) 480	大阪市北区梅田1-1-3-2200 大阪駅前第3ビル22階 鳥取県関西本部内
島根県	島根県ふるさと定住・雇用情報コーナー（東京）				定	求	0120 (60) 2357	東京都中央区日本橋室町1-5-3 福島ビル1階 にほんばし島根館内
	島根県ふるさと定住・雇用情報コーナー（大阪）				定	求	0120 (70) 2357	大阪市北区西天満3-13-18 島根ビル2階 島根県大阪事務所内
	島根県ふるさと定住・雇用情報コーナー（広島）	農	林	漁	定	求	082 (541) 2410	広島市中区立町1-23 ごうぎん広島ビル3階 島根県広島事務所内
	岡山県	岡山県企業人材確保支援センター 東京ブランチ				求	03 (5212) 9080	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館10階 岡山県東京事務所内
	岡山県企業人材確保支援センター 大阪ブランチ					求	06 (6131) 6390	大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル1階 岡山県大阪事務所内
	広島県	東京ふるさと就職情報コーナー				求	03 (3580) 0851	東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 22階 広島県東京事務所内
	ひろしま暮らしサポートセンター	農	林	漁	定	求	080 (5873) 3296	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	大阪ふるさと就職情報コーナー					求	06 (6345) 5821	大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階 広島県大阪情報センター内
山口県	やまぐち暮らし東京支援センター	農	林	漁	定	求	03 (6273) 4887	東京都千代田区有楽町2-10-1 ふるさと回帰支援センター内
	やまぐち暮らし大阪支援センター	農	林	漁	定	求	06 (6341) 0755	大阪市北区梅田2-4-13 阪神産経桜橋ビル2階 山口県大阪営業本部内
徳島県	徳島県東京本部徳島Uターンコーナー	農				求	03 (5212) 9022	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館14階 徳島県東京事務所内
	住んでみて徳島で！移住相談センター				定	求	090 (7720) 7047	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	徳島県大阪本部徳島Uターンコーナー	農	林			求	06 (6251) 3273	大阪市中央区南船場3-9-10 徳島ビル4階 徳島県大阪事務所内
	香川県	香川県東京人材Uターン・コーナー	農	林	漁	定	求	03 (5212) 9100
	うどん県・香川暮らし相談コーナー				定	求	080 (2125) 1634	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	香川県大阪人材Uターン・コーナー	農	林	漁	定	求	06 (6281) 1661	大阪市中央区東心斎橋1-18-24 クロスシティ心斎橋4階
愛媛県	愛媛県東京事務所	農			定	求	03 (5212) 9071	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館11階
	愛媛ふるさと暮らし応援センター				定	求	080 (7749) 3244	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	愛媛県大阪事務所	農	林	漁	定	求	06 (6441) 2829	大阪市西区江戸堀1-9-1 肥後橋センタービル1階
	高知県	高知県東京事務所				求	03 (3501) 5541	東京都千代田区内幸町1-3-3 内幸町ダイビル7階
	高知県移住相談窓口	農	林	漁	定	求	03 (6273) 4626	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内

地域	団体名	農	林	漁	定	求	電話番号	所在地
	高知県移住・交流コンシェルジュ(東京窓口)	農	林	漁	定	求	03(3561)8417	東京都中央区銀座1-3-13 The ORB Premiere(高知県アンテナショップ「まるごと高知」地下1階)
	高知県事業承継・人材確保センター				定	求	03(6206)1707	東京都千代田区内幸町1-3-3 内幸町ダイヤビル7階 高知県東京事務所内
	高知県大阪事務所				定	求	06(6244)4351	大阪市中央区本町2-6-8 センパセントラルビル1階
	大阪ふるさと暮らし情報センター(毎月第4金土曜日出張相談窓口)	農	林	漁	定	求	088(823)9336	大阪市中央区本町橋2-31 シティプラザ大阪1階
佐賀県	さが移住サポートデスク(東京)				定	求	090(1657)8205	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
長崎県	ながさき移住サポートセンター	農	林	漁	定	求	080(7735)3852	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	長崎県大阪事務所				定	求	06(6341)0012	大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階
熊本県	くまもと移住定住支援センター	農	林	漁	定	求	080(2125)1656	東京都千代田区有楽町2-10-1 ふるさと回帰支援センター内
	熊本県大阪事務所	農			定	求	06(6344)3883	大阪市北区梅田1-1-3-2100 大阪駅前第3ビル21階
大分県	大分県東京事務所	農	林	漁	定	求	03(6862)8787	東京都中央区銀座2-2-2 ヒューリック西銀座ビル6階
	おおいた暮らし相談窓口	農	林	漁	定	求	080(7731)8944	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	大分県大阪事務所	農	林	漁	定	求	06(6345)0071	大阪市北区梅田1-1-3-2100 大阪駅前第3ビル21階
	大分県福岡事務所	農	林	漁	定	求	092(721)0041	福岡市中央区天神2-14-8 福岡天神センタービル10階
宮崎県	宮崎県東京事務所	農	林	漁	定	求	03(5212)9007	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15階
	宮崎ひなた暮らしU・I・Jターンセンター	農	林	漁	定	求	03(6273)4200	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	宮崎県大阪事務所	農			定	求	06(6345)7631	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階
	宮崎県福岡事務所				定	求	092(724)6234	福岡市中央区天神2-12-1 天神ビル8階
鹿児島県	鹿児島県ふるさと人材相談室(東京)	農	林		定	求	03(5212)9062	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館12階 鹿児島県東京事務所内
	かごしま「よかとこ」暮らし支援センター				定	求	080(7731)7915	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	鹿児島県ふるさと人材相談室(大阪)	農			定	求	06(6341)5618	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階11号 鹿児島県大阪事務所内



●新規就業希望者の相談窓口

全国新規就農相談センター 〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8  
 中央労働基準協会ビル2階 (一社) 全国農業会議所内  
 TEL: 03(6910)1133 (相談用) <http://www.nca.or.jp/Be-farmer/>

都道府県新規就農相談センター

都道府県青年農業者等育成センター	電話番号	都道府県農業会議	電話番号
(公財) 北海道農業公社 北海道農業担い手育成センター	011(271)2255	(一社) 北海道農業会議	011(281)6761(直)
(公社) あおもり農林業支援センター	017(773)3131	(一社) 青森県農業会議	017(774)8580(直)
(公社) 岩手県農業公社	019(623)9390	(一社) 岩手県農業会議	019(626)8545(直)
(公社) みやぎ農業振興公社	022(275)9192	(一社) 宮城県農業会議	022(275)9164(直)
(公社) 秋田県農業公社	018(893)6212	(一社) 秋田県農業会議	018(860)3540(直)
(公財) やまがた農業支援センター	023(641)1117	(一社) 山形県農業会議	023(622)8716(直)
(公財) 福島県農業振興公社	024(521)9848	(一社) 福島県農業会議	024(524)1201(直)
(公社) 茨城県農林振興公社	029(239)7131	(一社) 茨城県農業会議	029(301)1236(直)
(公財) 栃木県農業振興公社	028(648)9511	(一社) 栃木県農業会議	028(648)7270(直)
(公財) 群馬県農業公社	027(251)1220	(一社) 群馬県農業会議	027(280)6171(直)
(公社) 埼玉県農林公社	048(558)3555	(一社) 埼玉県農業会議	048(829)3481(直)
(公社) 千葉県園芸協会	043(223)3008	(一社) 千葉県農業会議	043(223)4480(直)
(公財) 東京都農林水産振興財団	042(528)1357	(一社) 東京都農業会議	03(3370)7145(直)
神奈川県立かながわ農業アカデミー	046(238)5274	(一社) 神奈川県農業会議	045(201)0895(直)
(公財) 山梨県農業振興公社	055(223)5747	(一社) 山梨県農業会議	055(228)6811(直)
(一社) 岐阜県農畜産公社	058(276)4601	(一社) 岐阜県農業会議	058(268)2527(直)
(公社) 静岡県農業振興公社	054(250)8991	(一社) 静岡県農業会議	054(255)7934(直)
愛知県農林水産部農業経営課	052(954)6409	(一社) 愛知県農業会議	052(962)2841(直)
(公財) 三重県農林水産支援センター	0598(48)1226	(一社) 三重県農業会議	059(213)2022(代)
(公社) 新潟県農林公社 青年農業者等育成センター	025(281)3480	(一社) 新潟県農業会議	025(223)2186(直)
(公社) 富山県農林水産公社	076(441)7396	(一社) 富山県農業会議	076(441)8961(直)
(公財) いしかわ農業総合支援機構	076(225)7621	(一社) 石川県農業会議	076(240)0540(直)
(公社) ふくい農林水産支援センター	0776(21)8311	(一社) 福井県農業会議	0776(21)8234(直)
(公社) 長野県農業担い手育成基金	026(231)6222	(一社) 長野県農業会議	026(234)6871(直)
(公財) 滋賀県農林漁業担い手育成基金	077(523)5505	(一社) 滋賀県農業会議	077(523)2439(直)
(公社) 京都府農業総合支援センター	075(417)6847	(一社) 京都府農業会議	075(441)3660(直)
大阪府就農相談窓口	06(6210)9596	(一社) 大阪府農業会議	06(6941)2701(直)
(公社) 兵庫みどり公社	078(361)8114	(一社) 兵庫県農業会議(ひょうご就農支援センター)	078(391)1221(代)
(公財) なら担い手・農地サポートセンター	0744(21)5020	(一社) 奈良県農業会議	0742(22)1101(代)
(公財) 和歌山県農業公社	073(432)6115	(一社) 和歌山県農業会議	073(432)6114(直)
(公財) 鳥取県農業農村担い手育成機構	0857(26)8349	(一社) 鳥取県農業会議	0857(26)8371(直)
(公財) しまね農業振興公社	0852(20)2870	(一社) 島根県農業会議	0852(22)4471(直)
(公財) 岡山県農林漁業担い手育成財団	086(226)7423	(一社) 岡山県農業会議	086(234)1093(直)
広島県農業担い手支援課	082(513)3551	(一社) 広島県農業会議	082(545)4146(直)
(公財) やまぐち農林振興公社	083(924)8100	(一社) 山口県農業会議	083(923)2102(直)
(公財) 徳島県農業開発公社	088(621)3083	(一社) 徳島県農業会議	088(678)5611(直)
(公財) 香川県農地機構	087(831)3211	(一社) 香川県農業会議	087(812)0810(直)
(公財) えひめ農林漁業振興機構	089(945)1542	(一社) 愛媛県農業会議	089(943)2800(直)

都道府県新規就農相談センター

都道府県青年農業者等育成センター	電話番号	都道府県農業会議	電話番号
(公財) 高知県農業公社	088 (823) 8618	(一社) 高知県農業会議	088 (824) 8555 (直)
(公財) 福岡県農業振興推進機構	092 (716) 8355	(一社) 福岡県農業会議	092 (711) 5070 (直)
(公社) 佐賀県農業公社	0952 (26) 9503	(一社) 佐賀県農業会議	0952 (20) 1810 (直)
(公財) 長崎県農林水産業担い手育成基金	0957 (25) 0031	(一社) 長崎県農業会議	095 (822) 9647 (直)
(公財) 熊本県農業公社	096 (385) 2679	(一社) 熊本県農業会議	096 (384) 3333 (直)
(公社) 大分県農業農村振興公社	097 (535) 0400	(一社) 大分県農業会議	097 (532) 4385 (直)
(公社) 宮崎県農業振興公社	0985 (51) 2011	(一社) 宮崎県農業会議	0985 (73) 9211 (直)
(公社) 鹿児島県農業・農村振興協会	099 (213) 7223	(一社) 鹿児島県農業会議	099 (286) 5815 (直)
(公財) 沖縄県農業振興公社	098 (882) 6801	(一社) 沖縄県農業会議	098 (889) 6027 (直)



●新規就業希望者の相談窓口  
 一般社団法人 全国漁業就業者確保育成センター  
 〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13  
 三会堂ビル  
 TEL: 03 (5545) 1617  
<http://www.ryoushi.jp/>



●新規就業希望者の相談窓口  
 林業労働力確保支援全国センター  
 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12  
 コープビル 全国森林組合連合会内  
 TEL: 03 (3294) 9713  
<http://www.nw-mori.or.jp/>

●沖合・遠洋漁業

(一社) 全国漁業就業者確保育成センター	03 (5545) 1617
----------------------	----------------

●沿岸漁業

地域	事業実施主体	電話番号
北海道	北海道漁業就業支援協議会	011 (280) 3007
東北	青森県漁業協同組合連合会	017 (722) 4218
	岩手県漁業協同組合連合会	019 (626) 8082
関東	宮城県漁業就業者支援協議会	0225 (21) 5740
	秋田県漁業協同組合	018 (845) 1311
	山形県漁業協同組合	0234 (24) 5612
北陸	千葉県地域漁業担い手確保・育成支援協議会	043 (242) 6858
	東京都漁業協同組合連合会	03 (3458) 4161
	神奈川県漁業協同組合連合会	045 (773) 8877
中部	新潟県漁業協同組合連合会	025 (243) 3681
	富山県地域漁業担い手確保・育成支援協議会	076 (441) 6115
	石川県漁業協同組合	076 (234) 8818
近畿	福井県漁業協同組合連合会	0776 (24) 1203
	静岡県漁業協同組合連合会	054 (254) 6011
	愛知県漁業協同組合連合会	052 (971) 3501
中国	三重県漁業協同組合連合会	059 (228) 1205
	大阪府漁業協同組合連合会	072 (422) 4763
	滋賀県漁業協同組合連合会	077 (524) 2418
四国	京都府漁業協同組合	0773 (77) 2200
	和歌山県漁業協同組合連合会	073 (431) 5101
	兵庫県漁業協同組合連合会	078 (940) 8013
九州	鳥取県漁業協同組合	0857 (28) 0111
	漁業協同組合 JF しまね	0852 (21) 0001
	島根県漁業担い手確保・育成支援協議会	08514 (2) 1832
九州	広島県漁業協同組合連合会	082 (278) 5588
	山口県漁業協同組合	083 (231) 2212
	徳島県漁業協同組合連合会	088 (636) 0500
九州	香川県漁業協同組合連合会	087 (851) 0351
	えひめ漁業担い手確保促進協議会	089 (933) 5127
	高知県漁業協同組合	088 (854) 3600
九州	福岡県漁業協同組合連合会	092 (713) 1162
	佐賀県漁業就業者支援協議会	0955 (58) 8015
	長崎県漁業協同組合連合会	095 (829) 2413
九州	熊本県漁業協同組合連合会	096 (329) 8800
	大分県漁業協同組合	097 (532) 6611
	宮崎県漁村活性化推進機構	0985 (75) 0022
九州	鹿児島県漁業協同組合連合会	099 (813) 0026
	沖縄県地域漁業担い手確保・育成支援協議会	098 (860) 2600

●地域の林業について情報を集める

都道府県	都道府県林業労働力確保支援センター等	電話番号
北海道	北海道森林整備担い手支援センター	011 (200) 1381
青森県	青森県林業労働力確保支援センター	017 (732) 5288
岩手県	岩手県林業労働力確保支援センター	019 (653) 0306
宮城県	宮城県林業労働力確保支援センター	022 (217) 4307
秋田県	秋田県林業労働力確保支援センター	018 (864) 0161
山形県	山形県林業労働力確保支援センター	023 (688) 6633
福島県	福島県林業労働力確保支援センター	024 (521) 3270
茨城県	茨城県林業労働力確保支援センター	029 (225) 5949
栃木県	栃木県林業労働力確保支援センター	028 (624) 3710
群馬県	群馬県林業労働力確保支援センター	027 (386) 5901
埼玉県	埼玉県林業労働力確保支援センター	0494 (25) 0291
千葉県	千葉県林業労働力確保支援センター	0438 (60) 1521
東京都	東京都林業労働力確保支援センター	042 (528) 0643
神奈川県	神奈川県森林組合連合会	0463 (88) 3310
新潟県	新潟県林業労働力確保支援センター	025 (285) 7712
富山県	富山県林業労働力確保支援センター	076 (441) 6747
石川県	石川県林業労働力確保支援センター	076 (237) 0121
福井県	福井県森林整備支援センター	0776 (38) 0345
山梨県	山梨県林業労働センター	055 (242) 6667
長野県	長野県林業労働力確保支援センター	026 (225) 6080
岐阜県	岐阜県林業労働力確保支援センター	0575 (33) 4011
静岡県	静岡県林業労働力確保支援センター	054 (255) 4485
愛知県	愛知県林業労働力確保支援センター	052 (953) 3608
三重県	三重県林業労働力確保支援センター	0598 (48) 1226
滋賀県	滋賀県林業労働力確保支援センター	077 (522) 0307
京都府	京都府林業労働力確保支援センター	075 (821) 9277
大阪府	大阪府林業労働力確保支援センター	06 (6538) 7524
兵庫県	兵庫県林業労働力確保支援センター	078 (361) 8010
奈良県	奈良県林業労働力確保支援センター	0742 (24) 2133
和歌山県	わかやま林業労働力確保支援センター	0739 (83) 2022
鳥取県	鳥取県林業労働力確保支援センター	0857 (28) 0123
島根県	島根県林業労働力確保支援センター	0852 (32) 0253
岡山県	岡山県林業労働力確保支援センター	086 (225) 9382
広島県	広島県林業労働力確保支援センター	0826 (72) 7833
山口県	山口県森林整備支援センター	083 (932) 5286
徳島県	徳島県林業労働力確保支援センター	088 (676) 2200
香川県	香川県林業労働力確保支援センター	087 (861) 4353
愛媛県	愛媛県林業労働力確保支援センター	089 (934) 6153
高知県	高知県林業労働力確保支援センター	0887 (57) 0366
福岡県	福岡県林業労働力確保支援センター	092 (712) 1443
佐賀県	佐賀県林業労働力確保支援センター	0952 (25) 7133
長崎県	長崎県林業労働力確保支援センター	0957 (25) 0184
熊本県	熊本県林業労働力確保支援センター	096 (340) 1151
大分県	大分県林業労働力確保支援センター	097 (546) 3009
宮崎県	宮崎県林業労働力確保支援センター	0985 (29) 6008
鹿児島県	鹿児島県林業労働力確保支援センター	0995 (54) 3131
沖縄県	沖縄県林業労働力確保支援センター	098 (987) 1804

# おんせん県おおいたで 農業しませんか？

充実した研修制度で、**全力**就農サポートします！



## 技術習得研修制度が充実！

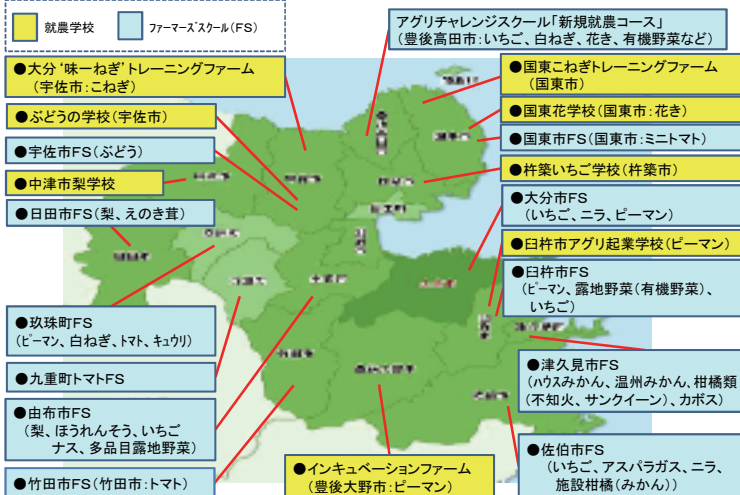
### 就農学校・ファーマーズスクール

新たに農業を始めようとする方が技術を学び、スムーズに就農できるよう、地域の主な農産物の研修施設・制度を整備しています。

#### MEMO

- ◎ H22～H28の研修生数（県計）  
129名（県外からのUIJターン：69名）  
※既に59名が農業開始！

#### 「就農学校」・「ファーマーズスクール」の整備状況 (H29.5.1現在)



## 相談会に参加し、情報収集を開始しよう！



### ◎ おんせん県おおいた就農応援フェア… 自営就農・雇用就農の相談会です

大阪会場		7月16日(日)	12:00～16:00	淀屋橋サンスカイルーム 9階会議室
大分会場		7月29日(土)	11:00～16:00	ホルトホール大分 3階大会議室
東京会場	平成29年	8月5日(土)	12:00～16:00	A P秋葉原 4階会議室
福岡会場		9月24日(日)	13:00～16:30	福岡天神センタービル 4階会議室
東京会場		11月25日(土)	12:00～16:00	新宿エルタワーサンスカイルーム 1階C室

※上記相談会には、県内の農業法人に就職を斡旋する無料職業紹介所も参加します。

### ◎ おおいた農業法人等合同就職相談会… 農業法人への就職相談会です

大分会場	平成29年	8月11日(金・祝日)	12:00～16:00	ホルトホール大分 大会議室
------	-------	-------------	-------------	---------------

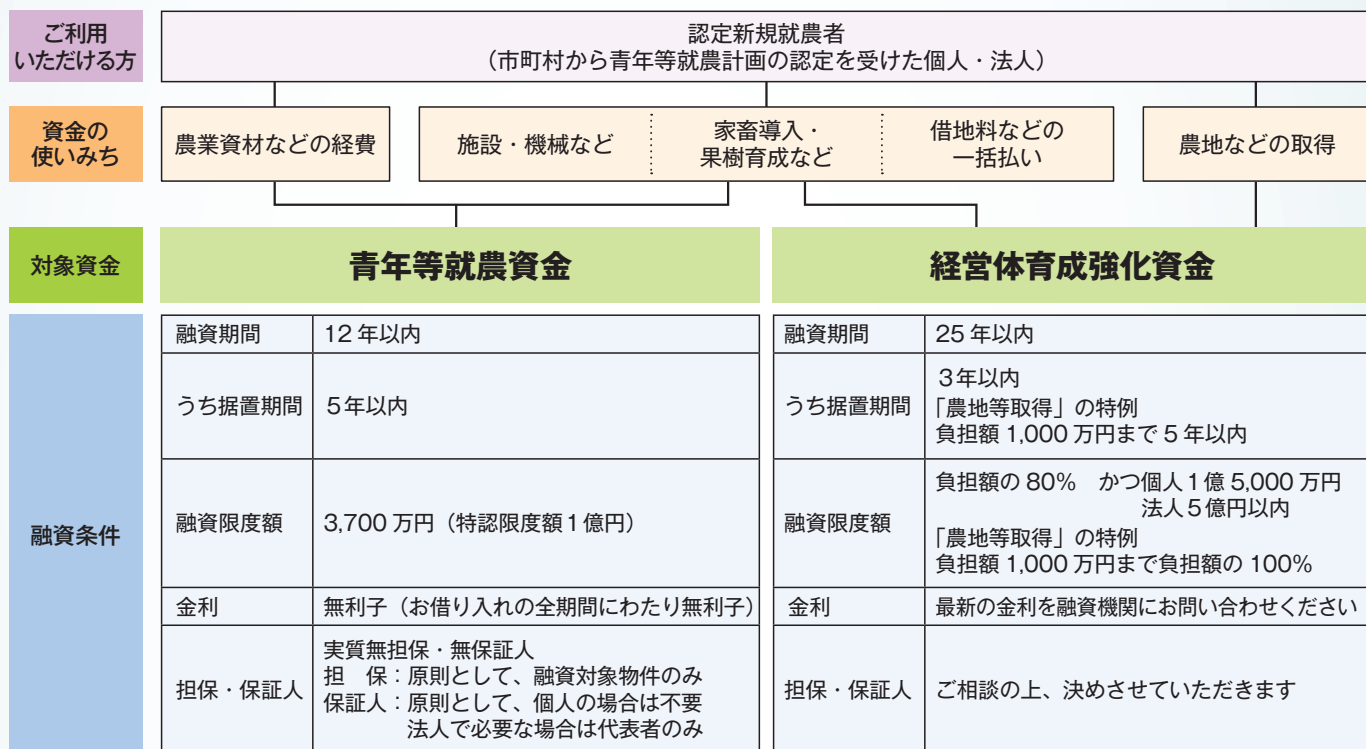
認定新規就農者の皆さまへ

# 経営の開始を応援します!

日本政策金融公庫（日本公庫）農林水産事業は、新たに農業経営を開始される認定新規就農者が、青年等就農計画を達成するために実施する幅広い事業を青年等就農資金により支援しています。

青年等就農資金は新規就農者を倍増させるという政府の目標を推進する政策性の高い資金です。新規就農を希望される方にご利用いただきやすいよう、融資条件は「無利子」「実質的な無担保・無保証人」となっています。

## 日本公庫の資金制度の概要



- \* 審査の結果により、ご希望に沿えない場合があります。
- \* 上記以外にも資金をご利用いただくための要件などがあります。
- \* 青年等就農資金は毎年度、国の予算の範囲内で実施される制度のため、ご融資の実行時期によっては、ご希望に沿えない場合があります。

### 活用事例 地域おこし支援員から就農 かんのてる 菅野 照さん（福島県伊達市）

大阪府出身の菅野さんは、東日本大震災直後にボランティアとして駆けつけ「地域おこし支援員」として活動を行っていました。そこで、多くの離農者を目のあたりにし、福島に活気を取り戻したいとの思いから就農を決意しました。

1年間の研修を受ける中で、ミニトマトを中心とした施設野菜を営農の柱に据え、行政と日本公庫に就農計画を相談しました。

そして、平成28年1月に青年等就農計画の認定を受け、日本公庫から選別機やハウス改修に必要な設備資金を借入れ、野菜生産を開始しました。

1年目の営農を終えた菅野さんは、「昨年は作業に追われました。今年からはスナックエンドウなど生産品目を増やします。将来的には空き家を活用し、住民の方々の憩いの場にしたいです」と抱負を語っています。



### お問い合わせ

詳しくは、以下のフリーダイヤル、または、お近くの公庫支店 農林水産事業に「ijiu infoを見た」とお気軽にご相談ください。

行こうよ! 公庫

**JFC 日本政策金融公庫**  **0120-154-505**

### ホームページのご案内

新規就農に関する融資制度Q&Aや手引きなど、お役立ち情報はこちら

